

第2回 都市部の高齢化対策に関する検討会	資料7
平成25年6月13日	

(仮)かすみがうら市プラチナタウン構想について

平成 25 年 6 月 13 日

茨城県かすみがうら市

目次

1	構想の背景	1
2	構想の概要	1
3	現在の課題	1
(1)	共通課題	1
①	自治体の連携の可能性	1
②	構造改革特区制度の可否	1
(2)	都市部の課題	2
①	特別養護老人ホームの不足（待機者の増加）	2
②	介護施設の整備が困難（用地不足・地価高騰）	2
③	特別養護老人ホーム建て替えの仮入居用特養の確保	2
④	地域包括ケアの推進と他の自治体との連携の整合性	2
(3)	市の課題	2
①	介護人材不足	2
②	医療介護費用の増加	2
③	転入する介護人材の居住の場の確保	2
④	介護保険料額の増加	2
⑤	入所する高齢者を含めたまちづくりの創出	2
4	施設環境の課題と状況	2
(1)	居住地との距離	2
(2)	交通利便性	2
(3)	自然環境等	2
(4)	医療施設	2
(5)	商業施設	2
5	かすみがうら市の状況	2
(1)	市の概要	2
①	沿革	2
②	市の位置	2
③	地勢・気候	3
④	産業構造	3
⑤	みどころ・観光・豊かな自然等	4
⑥	イベント	5
⑦	特産品等	6
(2)	市の福祉施設等の現状	7
6	これまでの取り組み状況	7
7	今後の取り組み	7

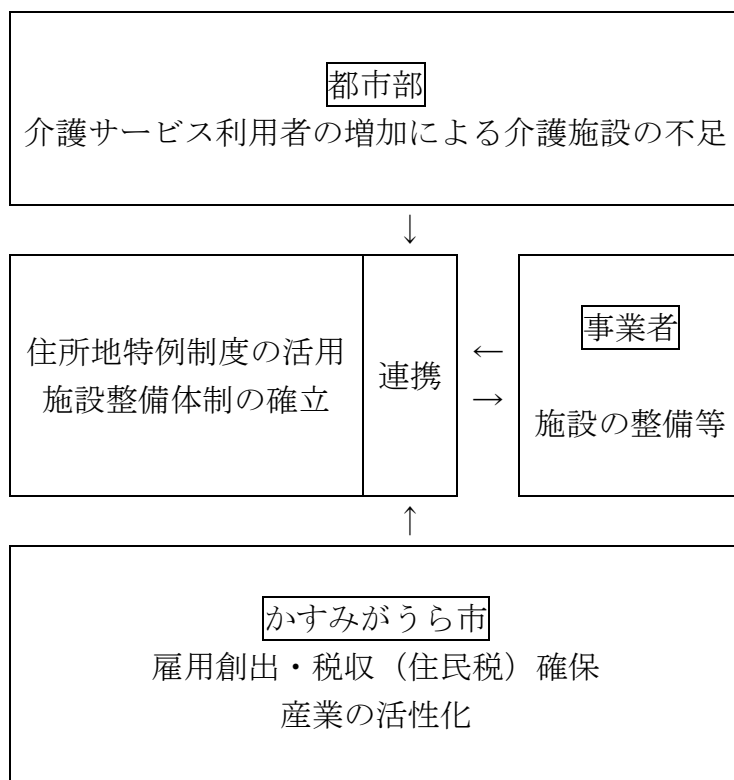
1 構想の背景

日本の高度成長期に起こった首都圏などへの爆発的な人口集積は、今後、この地域の高齢化が進行し、高齢者が増加することが見込まれ、特に都市部においては、介護サービス利用者の急速な増加が予測されており、特別養護老人ホーム待機者の増加など、従来の地域密着的な視点のみでの解決は、困難な状況になってくる。

一方、当市では、人口減少などにより、地域の活力の低下が懸念されており、地域経済の活性、雇用の場の確保、地域の活性化が課題となっている。

2 構想の概要

当市では、都市部の高齢者増加と当市の地域活性化の課題を双方が連携することにより、両地域の人々の福利向上につながるものと考えている。これら双方の課題を解決するため、都市部の介護施設への入居希望者を当市が受け入れるための施設整備の可能性及び体制等を構築することを目指し、(仮)かすみがうら市プラチナタウン構想を検討している。



3 現在の課題

(1) 共通課題

- ① 自治体の連携の可能性
- ② 構造改革特区制度の可否

(2) 都市部の課題

- ① 特別養護老人ホームの不足（待機者の増加）
- ② 介護施設の整備が困難（用地不足・地価高騰）
- ③ 特別養護老人ホーム建て替えの仮入居用特養の確保
- ④ 地域包括ケアの推進と他の自治体との連携の整合性

(3) 市の課題

- ① 介護人材不足
- ② 医療介護費用の負担増加
- ③ 転入する介護人材の居住の場の確保
- ④ 介護保険料額の増加
- ⑤ 入所する高齢者を含めたまちづくりの創出

4 施設環境の課題と状況

(1) 居住地との距離

都心から1時間半（最寄駅 JR 常磐線土浦駅・神立駅）

(2) 交通利便性

鉄道…最寄駅 JR 常磐線→土浦駅・神立駅

道路…常磐自動車道→土浦北 I C・千代田石岡 I C

(3) 自然環境等

優れた自然景観と都市景観が調和しており、温暖で災害が少ない。

(4) 医療施設

当市に隣接する区域に第3次医療圏の拠点施設である高度医療施設（土浦協同病院・約800床）が整備される予定。

(5) 商業施設

JR常磐線の神立駅周辺や幹線道路沿いでは、商業・業務系や住居系の市街地が形成されている

5 かすみがうら市の状況

(1) 市の概要

① 沿革

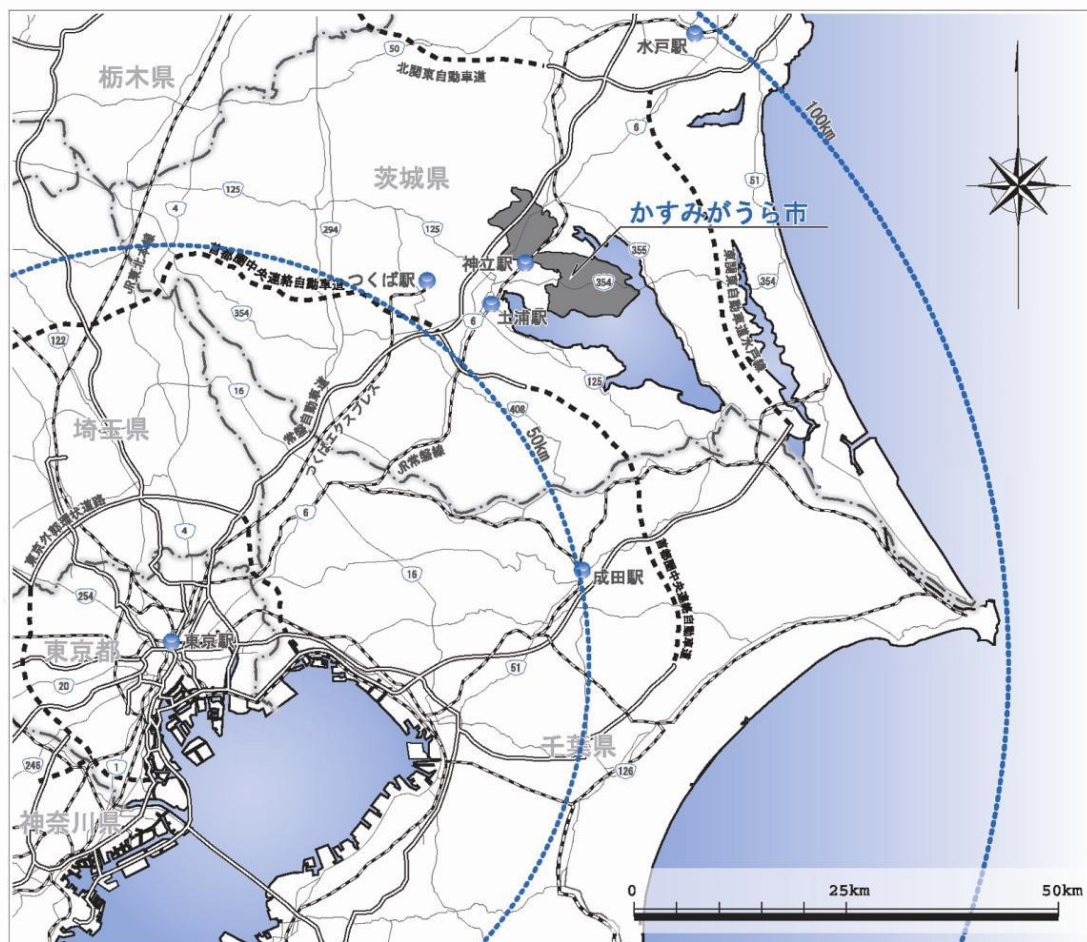
平成17年3月28日に「霞ヶ浦町」、「千代田町」が合併

② 市の位置

本市は、茨城県南部のほぼ中央に位置し、わが国第2位の面積を誇る湖「霞ヶ浦」と筑波山系の南麓にはさまれ、その一部は水郷筑波国定公園に指定されるなど、優れた自然景観と都市景観が調和した田園都市である。

西側は土浦市、東側は石岡市に隣接し、首都東京へ約70km、県都水戸市へ約30km、筑波研究学園都市へ約10kmの距離に位置している。

幹線交通網として、JR 常磐線、千代田石岡インターチェンジが置かれている常磐自動車道、国道 6 号、国道 354 号を有しており、また、霞ヶ浦大橋、幹線交通網が各都市を結び、立地条件に恵まれた都市である。



③ 地勢・気候

市の大部分は、標高 25m 前後の常陸台地で、西端の標高約 380m の山々から霞ヶ浦湖岸の低地へとなだらかにつづき、陸地は東西に約 19.5km、南北に約 16km、総面積は、156.61 km^2 （うち霞ヶ浦水面の面積は 37.82 km^2 ）ある。

台地には、梨や栗などの畑や平地林、低地には、水稻やレンコンなどの水田が広がり、また、霞ヶ浦沿岸ではワカサギやシラウオなどの内水面漁業も行なわれている。

気候は、霞ヶ浦や筑波山系の山々の影響を受けて、冬期は比較的暖かく夏期は比較的涼しく、台風や霜、雪などの被害も比較的少ない地域で、温暖な気候に恵まれている。

④ 産業構造

市の産業は、レンコンや果樹、内水面漁業など全国有数シェアを誇る農林水産業と立地条件に恵まれて集積してきた商工業がバランスよく発展している。

第1次産業 8.9%、第2次産業 28.8%、第3次産業 51.9%となっている。

⑤ みどころ・観光・豊かな自然等

- ◇ 歩崎公園
- ◇ 歩崎公園ビジターセンター
- ◇ かすみがうら市水族館
- ◇ かすみがうら市郷土資料館
- ◇ あゆみ庵、民家園
- ◇ 歩崎森林公園
- ◇ 富士見塚古墳公園
- ◇ 戸沢池（戸沢公園運動広場）
- ◇ 雪入ふれあいの里公園
- ◇ 三ツ石森林公園
- ◇ 活性化センター生産物直売所
- ◇ 生産物直売所
- ◇ 歩崎展望台



『歩崎公園』



『雪入ふれあいの里公園』

◇ 成沢の山桜

かすみがうら市西部の雪入（ゆきいり）付近には、約3,000本ものヤマザクラが群生している。人の手がまったく加えられていない自然のままの美しさから、茨城の自然百選のひとつにも選ばれている。絶好の見ごろは4月中旬ごろの数日間。



『成沢の山桜』

県道土浦・笠間線から雪入方面に向かう（上佐谷小学校を通りぬけてすぐ）途中がビューポイント。

◇ サイクリング

霞ヶ浦に突き出た半島の先端を起点に楽しめる全長35kmのサイクリングコースです。霞ヶ浦湖岸から恋瀬川沿いを走り筑波山を望む景色は魅力十分。



◇ 釣り

市内釣りスポットとして、まずは霞ヶ浦湖岸周辺。ここではコイ・フナをはじめタナゴ・ペヘレイ・ソウギョなどを釣ることができる。

ソウギョは草食なので釣針に葉を巻いて糸を垂らすと釣ることができる。市内を流れる川ではゴロやボラが釣れる。

◇ 果樹狩り

かすみがうら市の果樹園では、一年を通して果物狩りができる。
なし・ぶどう・くり・かき・りんご・いちご・ブルーベリーなど

◇ 雪入しぜんの道「茨城の森林浴の道」

いばらき森林浴の道 100 選にも選ばれている「雪入しぜんの道 1～雪入山コース」は、雪入山から浅間山にかけての豊かな自然を楽しむことのできる所要時間約3時間30分のコース。全体的に緩やかなコースは、歩きやすい車道を歩くルートと山道を歩くルートで構成され、途中随所にある眺望スポットや神社など、見どころ満載のハイキングコースとなっている。



関東平野を一望。

遙か遠くに東京スカイツリーを発見！

案内板が整備された歩きやすいコースには、途中に分岐点もたくさんあるので、年配の方やお子様でも無理のないルートを設定することが可能。また、飲料補給やトイレ等の設備もコース内要所にありますので、女性の方でも安心である。

◇ バードウォッチング

◇ 霞ヶ浦環境科学センター（隣接市）

⑥ イベント

◇ かすみがうら祭

かすみがうら市の秋の一大イベントといえば、毎年11月3日に第1常陸野公園で開催される「かすみがうら祭」。

かすみがうら市の豊かな文化・食・自然・伝統・歴史・遊び・音楽に触れ、まちの良さを発見・再発見する催しとして、市内外を問わず、たくさんの方が訪れている。

◇ あゆみ祭

歩崎公園を会場として、毎年8月16日に行われる一大イベント。中央ステージや青空広場では、各種団体による踊りや演奏の披露、農水産物などの販売、無料配布などをはじめ、イベントが盛りだくさん。

湖上では、観光帆引き船の合同操業や湖上打上げ花火など熱気あふれるイベントに多くの歓声が上がり、夏の日を鮮やかに演出する。

◇ 観光帆引き船

霞ヶ浦の風物詩である帆引き船は、本市に生まれた折本良平氏によって考案され、明治13年に初めて霞ヶ浦に浮かんだ。20人以上の人手が必要だった従来の漁法に比べ、一人で広い湖を乗り回し、自由に魚を捕れる帆引き網漁は画期的な漁法であった。昭和40年頃からトロール船に取って代われ、まもなく姿を消したが、霞ヶ浦漁業の歴史を知る上で極めて重要な文化的遺産であることから、昭和46年に観光帆引き船として復活した。



歩崎園地には、帆引き船発祥のまちを宣言した記念碑が設置されている。また、同市ではフォトコンテストや、帆引き船模型、絵ハガキの販売など、帆引き船にまつわるイベントも盛んに行われている。

◇ 鹿島アントラーズFCフレンドリータウンデイズ「かすみがうら市の日」

(株)鹿島アントラーズFCでは、「かすみがうら市の日」と題して、年に1度、市内在住・在勤・在学の方を対象に、鹿島アントラーズホームゲームにご招待・ご優待している。

◇ かすみがうらエンデューロ

日本で2番目に大きな湖「霞ヶ浦」のほとりを会場に、自転車耐久レース。

日本百景にも選ばれる美しい湖沿いを1.8kmにも渡って一直線に駆け抜け、4.8kmの周回コース。

普段は車や歩行者に気をつかいながら走る公道も、この日ばかりはサイクリストのために完全封鎖。

爽快な「景観」と「コース」で贅沢なレースを堪能できる。

⑦ 特産品等

- ・レンコン、佃煮、米、栗、果樹など
- ・湖山の宝

市内に有する観光資源のほか、推奨指定や販売を支援していく市産の生鮮品や加工品等を象徴する統一的なブランドネーミング。魅力ある多様な資源が「湖山の宝」を共有することで、かすみがうら市の観光的ブランドや食ブランドの好感的印象を高めてい



くとともに、地域を誇るブランド名としての形成と浸透を図っている。

(2) 市の福祉施設等の現状

福祉施設等の設置現状

区分	特別養護 老人ホーム (定員)	老人保 健施設 (定員)	軽費老人 ホーム (定員)	有料老人 ホーム (定員)	サービス 付き高齢 者向け 住宅 (戸)
茨城県	11,532	7,383	1,714	4,050	2,443
かすみがうら市	280	100	58	43	68

(注) 資料は茨城県ホームページ公表資料の集計値。

6 これまでの取り組み状況

- ・平成22年秋より、シルバー産業を中核とした地域活性化プラン研究会（市内部組織）を組織し、シルバー産業を中核とした地域活性化策の調査検討を行った。（平成23年5月16日に報告書を市長に提出。）
- ・平成24年度に株式会社三菱総合研究所が実施した「高齢者居住を中心とした自治体間連携に関する調査」の自治体ヒアリングに参加した。

7 今後の取り組み

都市部の介護施設への入居希望者を当市が受け入れるための施設整備の可能性及び体制等の構築を検討するため、当市への施設整備を検討する事業者等を会員とする「(仮) かすみがうら市プラチナタウン研究会」を平成25年7月末までに発足させる。